

for adults
R18
only

UNIZO UNIKURA

ZERONOTUKAIMA

LOVE POSITION

PIINKY

ラブポーションピंक



今日は、うに蔵です。今回はゼロ魔本です。アニメでさくっとルイズさんの可愛さにやられてしまいました、ツンデレって本当に最高です！アニメから入ったので、一応原作も読んでおこうと小説の方も買ったりしたのですが、どうも最近活字になれていないせいかまだ読破出来ていませんです…。昔は良く読んでいたんですけどね、ラノベ。そういえばもっぱら富士見派で他社のを買ったの初めてかも。

今回は初のオールカラー本です！夏は本文カラーやったんですが、方向性を掴めず撃沈。今回は大人しくペインター塗りに戻しました、思えばあの夏は何をフォトショに必死になっていたんだろう…。リベンジのごとく挑戦したのですが、いやもう、死にかけました。覚悟はしていたけど。とりあえず見れる最低ラインは死守出来たと思うのですが、反省すべき点がてんこ盛りです。やっぱり塗りが単調すぎるかなーとか、思っちゃったりするわけですよ。ノーマル塗りばかりで見ていて疲れちゃうみたい。背景ないし（しくしく）。もうちょっとエフェクトとか、カラーのバリエとか増やしたいですね。あとは計画性とだらけない精神力を養いたいです（笑）

スペースが余ってるんでコメントでも

表紙 媚薬を持ってるルイズさんです、ツンデレさを余す事無く表現してみた。つもり！

2P ルイズさんカラー習作、冬のイベントカットにも使いました。これくらい口リの方が受けがいいのかなあ難しいです。

3P 4P！キュルケさんは巨乳なので大変描きやすいです。キュルケもっと描いておけばよかったかなあ。

4P サイトを誘っちゃおうルイズさん。

5P シエスタさんは好きなんだけど、特徴が掴みにくくて描きにくいです…アンリエッタと特徴似てるから描き分けが難しい…。

6-7P 漫画もどき佳境、ここに限らず細かい事は気にしないで下さい…。

8P モンモンの巻き毛は描くのが楽しかったんですが、ギーシュ…こいつは二枚目なのか三枚目なのか原作見てもアニメ見ても未だに判断が付かなくて…とりあえず二枚目にしたんですが…。

9P 鎧描くのが大変でした。

10-11P 差分を描いてみたかったので…で、手抜きなんかじゃないんだからねっ勘違いしないで！

12P 竜を描くのも鎧と同じく久々で楽しかったです、タバサは系統的に描くのが苦手な部類かなとか思っていたんですが、描いてみたら案外苦もなく描けた。このPは比較的気に入ってます。

13P ワルドとにゃんにゃん。

14P メイドさん！細かい所は都合良く改編。

裏表紙 ミニキャラです、ルイズの顔がデカくなってしまいました…。

それでは今回はこの辺で！

次回の本は暖かくなった頃に出てる？かな？

うにくら





「遅かったじゃない…」
サイトは部屋に戻った瞬間、その空気がいつもものとチガウという事を感じた。声のした方へ視線をやると、ベッドの上で足を組み、腕を両肘の上にすえた鷹色の瞳の少女の視線と交わった。
ご主人様は相当ご機嫌なまめのご様子である。久しぶりにちゃんとした風呂に入ったから長風呂しちゃってさー！
「そりゃ気持ち良かったでしょうね」
ルイスの台詞が刺々しい…
「まさかシエスタと風呂に入ってる所を見られたのが…？いやまさか…」
様々な思いを巡らせ硬直しているサイトに、唐突にルイスが飛びかかってきた。
「サイトの馬鹿、バカ、ばか！どうして私を差し置いてあんなことしちゃうのよ！」
「やはり見られていた、シエスタとの外風呂での情事を…」瞬間、サイトは死を覚悟した、ひと思いに死ぬれば幸せな方だろうか…この御主人様は使い魔に容赦ない。」

「私と同じ事やりなさい！」
「……………」
「……………」

何の冗談かと、サイトは理解するのにしばしの時間を要した。
そうこうしているうちにルイスはシャツの前を開けさせ、形の良い胸を露にする。
そしてサイトの腕を掴み、自分の方へ寄せ…
「へっ？」
「お、私の胸だって柔らかくて温かくて気持ちいいんだからっ！」
ルイスは顔を真っ赤にさせてそう言った。
そもそもルイスが何故こんなに乱れてしまっているかと言うと、サイトとシエスタの情事を見て頭に血がのぼりなんだか喉が渴いたなと思っっている所に、偶然中庭で月を見ながら茶会をしていたモンモランシーとギーシュに出くわした。
そしてそこで彼等が飲んでいた飲み物を横取りして飲んだのが原因だ。
ルイスが飲んだソレには媚薬が入っておりこの有り様という訳である。
イチゴの様に顔をほてらせたルイスは尚も続けてこう言った。
「サイト！ご主人様にご奉仕しなさい！」
サイトはうなだれた、元はと言えば先ほどの出来事が原因だ…

サイトさん国のお風呂ですか？
素敵ですね！私も入りたいなあ

シエスタも入る？

えっ、ちょ
シエスタまずいよ！
もし誰か来たら…

ふふっ大丈夫ですよ
それよりサイトさんって
意外と恥ずかしがり屋さん
なんですね

なんて…冗談半分のもりだったのに
シエスタは恥じらも無く。給仕用の
メイド服をその場で脱いだ…

でも、さっきから
私の胸はっかり見てませんか？
もし触りたいんでしたら
触って頂いても構いませんよ
村娘の貧相な体などお気に召すか
どうかは分かりませんが…

そんな…シエスタの胸
おつきくて柔らかくて
温かくて最高だよ…

こっちの方も柔らかくて温かくて
最高ですよ♥サイトさん

そしてシエスタのお言葉に甘えて
五右衛門風呂の中でしっほり
致してしまった…

ちよっ…
イキナリ入れるつもりっ？

もうっ
ホント駄目ね！
お話しに
ならないわ！

えっ…あ
ハイ…

ふわっ！

か
す

こういうのは順序が
大切なのっ！
乙女心を分かって
ないんだから！

まずは私がサイトを
気持ち良くしてあげるのっ
御主人様が犬にご奉仕なんて
普通は無い事なんだからねっ
感謝しなさい！

い
ん
と
か
？

気持ち良くしてくんなきゃ

ちよっ

ちよっ

ちよっ

ちよっ

ちよっ

許さないんだからっ！
あ…あと痛くしたらご飯
抜きなんだからねっ！



あっ…
サイトっ

もっと！
もっと奥まで突き上げてっ
そんなんじやおまんこ
気持ち良くないのお！

サイトのちんぽが中で
大きくなってミルク
いっぱい入ってくるよお！

中がきゆうっつてするの！
やればできるじゃない！
できるじゃないっ！



「ボクの気を惹こうと媚薬を飲ませようとするなんて…そんな事をしなくとも僕は君しか見えないというのに…」
相変わらずの調子で、齒の浮くような台詞を耳元で囁いた。よくもまあ、ぼんぼんとこんな言葉が口から出るものだ。いつもの事ながらモンモランシーは呆れて溜息を一つ、ついた。どうせこんな台詞、他の女にもいつているに決まっているのだ。「ごめんね、君がそんなに僕にジェラシーを感じてくれているなんて気付かなかった」
少し嬉しそうに、調子のいい声色が痼に降る。
「ちょ…勘違いしないで！別にそんなんじや…！」
ギーシュはモンモランシーを後ろからそっと抱きしめる。
「今晚は僕を独り占めして構わないよ、僕も君をそうするから」
蚕の生糸で織られたタイツは一番のお気に入りだったのに、今は見るも無惨な姿。後でギーシュに新しいものを買わせよう、モンモランシーは心に誓った。
「急にしおらしくなったね」
ギーシュは指で彼女の秘所を蹂躪しながら、首筋に唇をはわせた。「あっ、嫌…そんなに指を動かさしないでギーシュっ」
モンモランシーの言葉を聞き入れるそぶりも見せず、彼女の胸の膨らみにもう片方の手の指を這わせながら、ギーシュは尚も彼女の温もりを楽しむのであった。



サイト！
昨日は全然気持ち良く
無かったわよ！

御主人様一人満足させられないなんて
アンタは犬以下よ！悔しかったら
今日もご奉仕する事！いいわね！



きゃっ！もう出しちゃったの？
サイト：早漏過ぎるわ：御主人様が
良くなる前に出しちゃうなんて
最低よ！

今日は特別に私が調教してあげる！
しっかり覚えるのよ！
覚えないと許さないのでからっ！

出
出

出
出

出
出

出

出

出...





突然シルフィードがタバサの服の裾を引っ張ってくる。
 「服、欲しいの？」
 タバサは首を傾けて問いかけるが、それだぶるぶると首を振って風竜は答えた。
 エメラルドの瞳は何処までも澄んでいて、まるで冬の海の様だった。シルフィードは尚も必要に服を引っ張るもしや、何かしら体の異常を知らせてくれているのではないか。使い魔である彼等は主人と運命共同体、何かしら危機を感じればいち早く察知してくれる頼もしい存在。タバサは静かに服の裾をそこつりまでたくし上げた。タバサが服を捲るなり、シルフィードはタバサの胸の先をチロチロと舐めはじめた。
 「あっ…、ダ、ダメ…」
 反射的に身をよじるも、体の大きい風竜に辺を包囲されてしまつては逃げ様が無い。
 それに…タバサの思いとは裏腹に、体は確実に熱を含みはじめ。あつという間に胸のつぼみは熟した果実の様に膨れ上がり、敏感になる。
 いやはり体がおかしい…熱にうなされたような、麻痺とした感覚の中タバサはそう思った。
 下腹部が妙に疼くし、心が切ない…。
 タバサは自分を慰める様に自分で自分を犯した。

いいじゃないかルイズ
約束された間柄なのだし

あははは

うわ

ト

ウキ

カ
カ

あ…ワルド
そんなに強く触っちゃ
だめえ…

ワルドのおちんぽ
みなくて汚れてるから
綺麗にしてあげるっ

でも何でだろ…なめてもなめても
みるくが出てきちゃう…

ワルドのお腹がいっぱいだよお
なかでビクビクしてる…

ウキ

ア

ウキ

ウキ



LOVE POTION PINK

発行 うに蔵UNIZO / うに蔵UNIKURA

発行日 20061231

印刷 関西美術印刷

MAIL lovekan@neptune.livedoor.com

BLOG <http://yaplog.jp/unizou/>





ユニゾ・ユニクラ・ゼロノツカイマ

UNIZO UNIKURA ZERONOTUKAIMA FAN BOOK